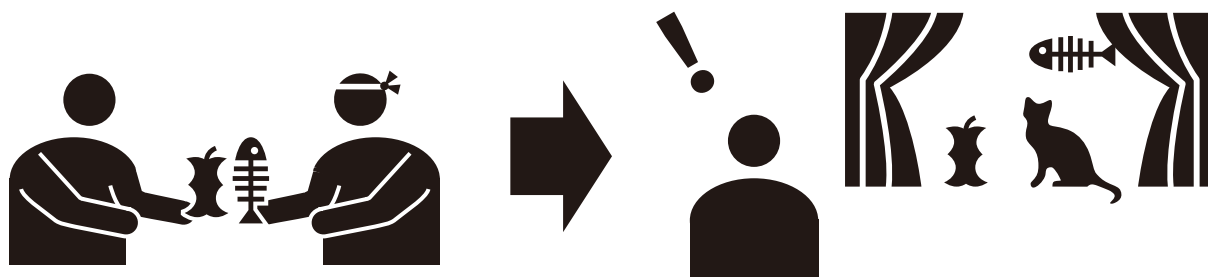


「もったいないプロジェクト」 創作活動に必要な物資を調達する活動



事業内容

「もったいないプロジェクト」は、文化芸術を通じて不用品に新しい価値を見出していく活動です。例えば、畳縁の切れ端を人形作者の市民が受け取り、業者にとっては不用品である物が人形の飾りとして再利用されたり、市民から集めた不用品でアーティストが都会の一角を表現した舞台美術を作成したりします。この活動は、不用になった物を施設に持っていくついでに文化芸術に触れる機会を創出することができると共に、創作活動に必要な物資を調達することで、結果的に文化芸術を媒介とした市民同士のコミュニケーションを促進することができる一石二鳥のアイデアです。

実施することで得られる効果・可能性

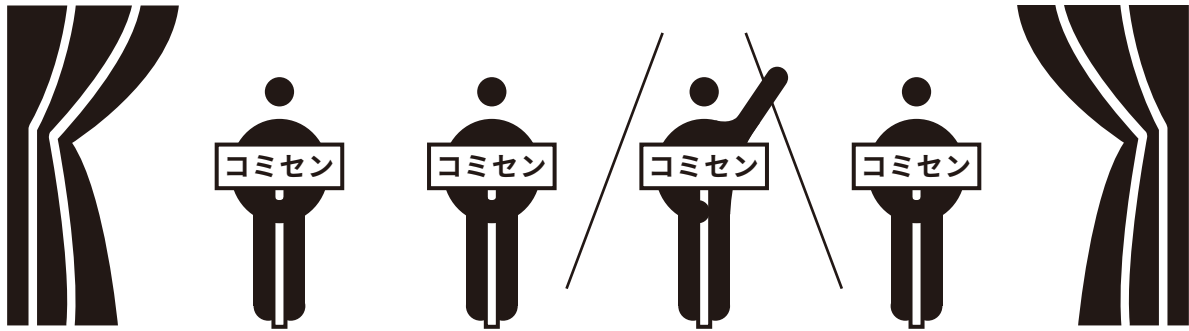
施設の来訪機会・リピーター創出
文化芸術に対する興味・関心の喚起

実現する上での課題

リサイクルプラザとの連携

「紅白コミセン合戦」

コミセンごとの各種サークル・団体が年に一度集結するイベント



事業内容

現在、市内にあるコミュニティセンターでは施設ごとに各種サークル・団体が活発に活動を行っています。「紅白コミセン合戦」では新しい施設で年に一度、市内のコミュニティセンターの各種サークル・団体が一同に集結し、コンクールを開催します。楽器演奏や舞踊といった実際の活動内容を紅白対抗形式で披露することはもちろん、施設独自の取組やユニークな活動の紹介なども評価する独自のコンクールとすることで、市内の文化芸術活動のより一層の活発化を目指します。

実施することで得られる効果・可能性

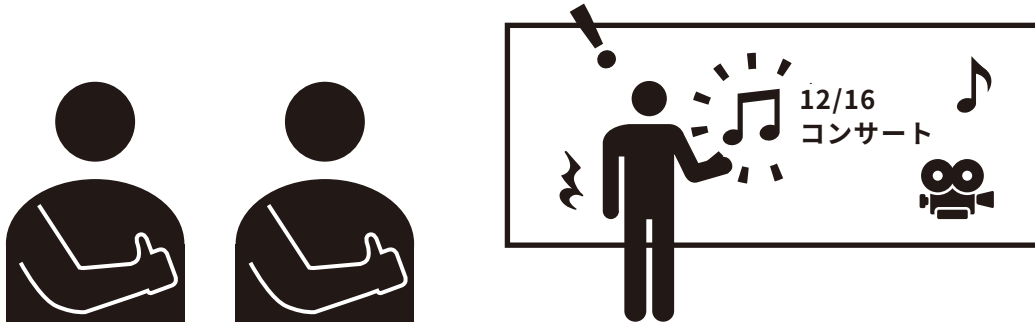
既存コミュニティセンターでの活動の活性化
新しい施設利用の機会創出

実現する上での課題

コミュニティセンターとの連携

「サイン考案部」

ついで利用を促進するサイン・サイネージを市民自らがプロデュースする組織



事業内容

新たな施設へのついで利用を促すために重要なのは、用事の合間に文化芸術に対する関心を喚起し、実際に市民を活動へと誘っていくための仕掛けや工夫です。「サイン考案部」は、プロやアーティストと共に市民の手で自らサインやサイネージ（電子看板）を作成し、ついで利用が生まれやすい環境づくりを行う組織です。ふと目に止まるサインやサイネージがあることで、普段意識していなかった活動のきっかけになることを目指すと共に、サインやサイネージ自体も一つの表現活動であり、それ自体が文化芸術活動となるような質の高い情報発信を担う組織となります。

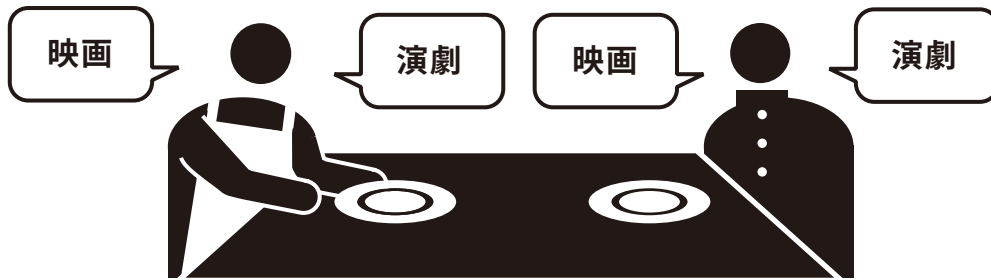
実施することで得られる効果・可能性

ついで利用の促進
市民による表現活動の活性化

実現する上での課題

運営を担う市民組織とそれをサポートする体制づくり
専門スタッフの雇用

「15の夜～親子の語らい」 文化芸術を通じた親子関係の絆を強めるプログラム



事業内容

「15の夜～親子の語らい」は、思春期の子どもとその親を対象にした芸術鑑賞プログラムです。例えば、その年に15歳になる子どもたちとその親を対象に、母の日、父の日の夜などに無料の演劇鑑賞イベントを設けます。将来のことを悩んでいても言い出せないなど、普段話すことの少ない思春期の親子関係に配慮しながら、少しでも家族で共に過ごす時間を増やし、一緒に観た演劇の話をするといった文化芸術を通じた家族間のコミュニケーションが創出されていくことを狙っています。鑑賞そのものに加えて、家族の記憶に残る一夜を演出します。

実施することで得られる効果・可能性

文化芸術に興味・関心の薄い市民の来訪機会の創出
家族間コミュニケーションの促進

実現する上での課題

諸室利用・チケット購入などの割引システムの構築

「チャレンジショップ in 市民プラザ」 開業を試みる市民が期間限定で出店する実験店舗ブース



事業内容

諸室にフレキシビリティを付加する際に重要なのは、日々提供されるサービスや諸室利用に改良を加えたり、内容を少しずつ変化させたりすることで、来訪者に対して常に新鮮な発見を提供することです。「チャレンジショップ in 市民プラザ」は、開業またはアンテナショップへの出店を希望する市民を対象に、店舗ブースを格安の条件で一定期間貸し出す実験店舗ブースです。先月はパン屋、今月はカレー屋といった具合に、店舗の内容が毎月変わっていくことで、期間限定だからこそ新たにチャレンジできる市民の意欲と、何度も訪れたいという来訪者の需要と供給が合致する試みです。

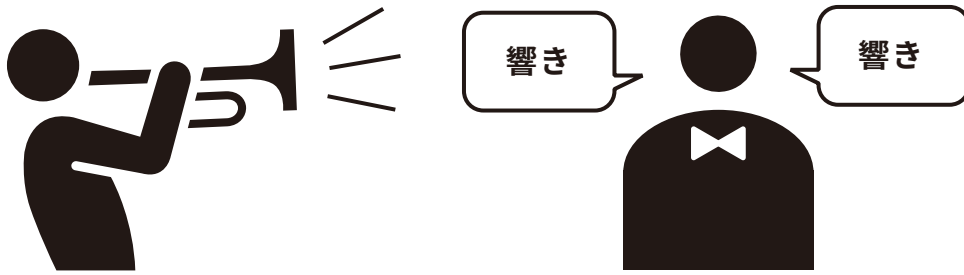
実施することで得られる効果・可能性

施設の来訪機会・リピーター創出

実現する上での課題

開業希望者の存在

「響きのソムリエ体験プロジェクト」 音響と空間の関係を学ぶ企画



事業内容

「響きのソムリエ体験プロジェクト」では、ホールや練習室によって楽器や声の響き方の違いを体験し、音響と空間の関係を学んでいく企画です。一流のソムリエは、単に高価なワインを提供するだけでなく、顧客の予算や好みを考慮し、状況に合わせて顧客を喜ばせることができるといいます。このプロジェクトでは、単に音響の良し悪しを学ぶのではなく、響き方の違いを楽しみます。

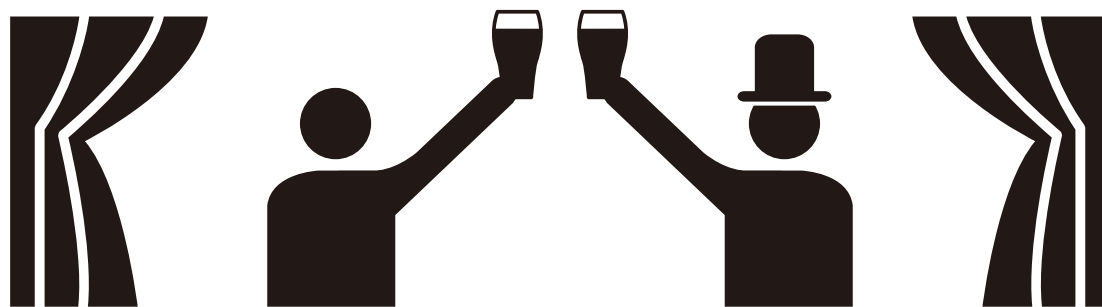
実施することで得られる効果・可能性

積極的な諸室利用
諸室の稼働率向上

実現する上での課題

専門スタッフの配備

「シアター de アフターパーティー」 公演後の打上げを関係者と観客で共有しあうイベント



事業内容

「シアター de アフターパーティー」は、公演後に観客と打上げをし、公演達成の喜びを関係者と観客で共有しあうイベントです。打上げは一般には関係者のみで行われますが、このイベントでは関係者だけではなく、公演を鑑賞した市民も参加可能とすることで、関係者は公演の感想や反応を直接受け取ることができます。また、鑑賞した市民が公演の関係者と直に交流を持つことで、さらなる文化芸術の輪の広がりや展開が見込めます。

実施することで得られる効果・可能性

施設独自のイベント創出
文化芸術活動家の交流促進

実現する上での課題

柔軟な諸室利用のルールづくり